

第2学年 図画工作科学習指導案

ろ組 男子17名 女子18名 計35名

指導者 濱崎 昇平

1 題材 つないで つないで 大はっけん！

2 題材について

(1) 題材の位置とねらい

本題材は、遊具や周辺の木などにポリエチレンテープをつなぎながら、気付いたテープの形や色の特徴を生かして表現する造形遊びの題材である。

この期の子どもたちは、思う存分に手や体全体を働かせながら、身の回りの材料をつないだり組み合わせたりして、楽しく表現しようとする意欲が高まってきている。また、組み合わせられてきた形や色を基に何かに見立てたり、様々な表現方法を試しながら次々と新しい形や色を発想したりすることができるようになってきている。さらに、友達と交流をしながら気付いたことを表現に生かす喜びや楽しさを味わってきている。

そこで、遊具などにポリエチレンテープをつなぐ活動は、体全体を使いながら、材料や場所に働きかけることができるため、**自分から進んでテープをつないで形や色の特徴に気が付き、気付いた形や色を生かして表現しようとする意欲を高めることができる。**また、遊具の形を生かして、ポリエチレンテープのつなぎ方を工夫しながら、組合せを考え、できた形や色を基に、新しい形や色を考えることを繰り返し行うことができるので、つくりだす力を伸ばしていくことになる。そして、ポリエチレンテープのつなぎ方を工夫するよさや、組み合わせでできた形や色の特徴に気付くことで、感じ取る力を伸ばしていくことにつながる。さらに、ポリエチレンテープのつなぎ方を適切に行ったり、思いに合わせてはさみでポリエチレンテープを適切に切ったりすることで、知識・理解、技能を高めることができる。

このように、気付いた材料の特徴を生かして体全体を使って表現していく活動は、第4学年の「つくろうあそぼうゆめの森」で、場所の特徴を生かして様々な材料を生かしながら全身を使って表現する活動へと発展していく。

(2) 指導の基本的な立場

本題材で扱うポリエチレンテープは、巻きつける、結ぶ、束ねる、垂らす、伸ばすなど様々な造形行為が容易にでき、ポリエチレンテープ同士の重なりやテープの向きなど、線を組み合わせることで楽しさを感じながら表現することができる。また、色が数種類ある上に、透過性があるので、自分の好きな色や組み合わせたい色などに合わせて色を選択しながら表現したり、色の重なりから新しい色に気付いたりすることができる。

具体的には、まず、ポリエチレンテープを遊具につなぐことに興味をもたせるために、教師が実際につないでみせ、つないでできた形や色の面白さを友達と交流する場を設定する。そして、自分はどのようにつないでみたいかを考えさせ、表現の見通しをもたせる。

次に、子どもがポリエチレンテープをつなぐ活動に意欲をもち表現し続けるようにするために、**テープの特徴を生かしてつないでいる表現を価値付け、次の表現の見通しをもたせる。**その際、自分自身の表現や友達の表現を鑑賞させ、テープのつなぎ方の工夫に気付かせ、自分の表現に生かすようにさせる。

さらに、終末の鑑賞において、自分や友達がつないでできた遊具を鑑賞する活動を通して、テープの特徴や発想の工夫に気付かせる。

このような学習を通して、子どもたちは、ポリエチレンテープの特徴を生かした形や色を工夫する見方や考え方を深め、造形行為を楽しんだり自分の思いやイメージに合わせて形や色を工夫したりしながら、新たなイメージをつくりだすことができた喜びを感じ取ることができると思う。

(3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、これまでの経験を通して26名の子どもたちが、ポリエチレンテープで遊んだことがない。(※1) さらに、ポリエチレンテープを使ってどのような遊びができそうか思い

実態調査 2年ろ組35名 (4月中旬実施)

- 1 ポリエチレンテープで遊んだことがありますか。
ある(9名) ない(26名)※1
- 2 ポリエチレンテープでどのような遊びができそうか思いつきますか。
はい(23名) いいえ(12名)※2
(どのような遊びか)
・ たこあげ ・ しっぽとり鬼
・ ひもにつなげて魚釣りゲーム など
- 3 ポリエチレンテープにはどのような特徴がありますか。
・ 色がある、きれい(25名) ・ 長い(3名)
・ 透明(2名) ・ 丈夫(1名)
・ 分からない(4名)
- 4 作品をつくっているときに、アイデアが思いつかないときは、どうしますか。
友達に相談する、友達の作品を見る(14人)
自分で考える(6人)
分からない(15人)※4
- 5 ポリエチレンテープをはさみで切ることはできますか。(実技)※5
切ることができる(26名)
切ることができない(9名)
- 6 ポリエチレンテープをつなぐ活動をどのように楽しむか。(実技)※6
つなぐ行為自体を楽しむ(23名)
作品をつくって楽しむ(12名)

つかない子どもが12名いる。(※2) 遊びを通して、ポリエチレンテープに触れる経験が十分ではないことがわかる。そこで、体全体を使ってテープをつなぐ活動に十分取り組めるような場や時間の設定をしたり、巻きつける、結ぶ、束ねる、垂らす、伸ばすといった様々な行為を促す発問をしたりする必要がある。

ポリエチレンテープの特徴について、多様な回答が出なかった。(※3) 理由として、テープに触れる体験を通してテープの形や色などの特徴に気付く経験が少ないからだを考える。そこで、活動中に形や色について気付いた子どもを価値付けたり、特徴を生かして表現している子どもを紹介したりし、テープの特徴に焦点化する発問をする必要がある。

アイデアが思いつかないときに、どのようにするかについては、自分で考える子どもが6人、分からない子どもが15人いた。(※4) **課題を解決する際に、友達の表現を見たり、友達と課題解決の方法を話したりすることのよさを実感していないことが分かる。**そこで、意図的に様々な場で

鑑賞する活動を設定し、友達の表現を見たり友達と交流したりしたことを表現に生かすようにさせる。

テープをはさみで切ることについて、9名の子どもが思い通りに切ることができなかった。(※5) そこで、はさみを使う際の安全指導をするとともに、はさみの使い方を実際に見せたり、資料を掲示したりして、思いに合わせて切ることができるようにする。テープをつなぐ活動をどのように楽しむかについて、23名の子どもがつなぐ行為自体を楽しみ、12名の子どもが作品をつくって楽しんでいた。(※6) 行為志向型や作品志向型、二つの型を行き来する中間型、それぞれに応じた発問や価値付けを行う必要がある。

(4) 指導上の留意点

ア 「思いをもつ・見通す」段階では、教師がポリエチレンテープを実際に遊具につなぐ活動を見せ、「自分ならどのようにつなげたいか。」と発問をし、遊具を見回しながら遊具の特徴を基につないだ様子をイメージさせ、自分の活動の見通しをもたせる。その際、表現中に行う鑑賞活動の必要性に触れ、鑑賞しながら表現をするよさに気付かせる。

イ 「思いを表現する」段階では、テープをつなぐ行為を楽しんでいる子どもには、行為自体や行為によってできた形や色を価値付け、作品をつくって楽しんでいる子どもには、イメージに合わせてできた形や色の面白さを価値付けるなど、個に応じた発問を行い、次の活動の見通しをもたせる。また、**遊びながら鑑賞する場や遠くから鑑賞する場を設定し、テープの特徴や特徴を生かした表現のよさに気付かせる発問を行い、近くの小集団で共有する。**

ウ 「思いを味わう」段階では、ポリエチレンテープの特徴を生かした表現のよさを実感できるように、遊びながら鑑賞したり、屋上など遠い場所から鑑賞したりする活動を通して、自分や友達の表現のよさを紹介し合いながら振り返り、活動を価値付ける場を設定する。

3 目 標

- (1) 遊具にポリエチレンテープをつなぐ活動に興味をもち、体全体を使って、つなぎ方を工夫しながら友達と進んで表現することができる。
- (2) ○ ポリエチレンテープのつなぎ方を工夫したり、形や色などの特徴を生かして表したい思いやイメージに合わせて形や色を工夫したりして表現することができる。
○ 自分や友達がつないでできたポリエチレンテープの形や色などの特徴に気付き、自分の表現に生かそうとすることができる。
- (3) ポリエチレンテープを適切に結んだり、はさみを適切に用いたりして表現することができる。

4 指導計画（全2時間）

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 遊具にポリエチレンテープをつないだり巻きつけたりして遊ぶことについて話し合う。 早くテープを遊具につないでみたいな。	1 (本時 1/2)	○ 遊具にポリエチレンテープをつなぐことに意欲をもたせるために、実際に教師が遊具にテープをつなぐ様子を見せ、「自分だったらどのようにつなげたいかな。」と問い、活動の見通しをもたせる。 ○ つないだポリエチレンテープを基に、形や色の特徴を見付けさせたり、形や色を生かして表現する楽しさに気付かせたりするために、教師がつないだテープを基に、気付いたことや、さらに工夫したいことを発表させ、題材のめあてへと焦点化する。
	2 学習のめあてについて話し合う。 テープをつないで、遊具をもっとたのしい場所にしよう。		
思いを表現する	3 遊具にポリエチレンテープをつないだり巻きつけたりして遊ぶ。 (1) 体全体を動かして、テープを遊具につないで遊ぶ。 テープを遊具に何回も巻きつけてみよう。	1 (本時 1/2)	○ 思いに合わせてポリエチレンテープの色を選択し、様々な色を楽しみながら表現することができるように、小分けにした数色のポリエチレンテープを数か所に置く。 ○ ポリエチレンテープの特徴や、テープの特徴を生かした表現のよさに気付かせるために、自分や友だちの表現を、遊んだり、近くや遠くに行ったりしながら鑑賞するように促す。その際、気付いた特徴や特徴を生かした表現の工夫を価値付け、その子どもの近くの小集団で共有する場を設定する。
	(2) 遊びながら友達や自分のつなぎ方のよさやテープの特徴に気付く。 いろいろな色が重なるときれいな。友達はおうちをつくっているな。ぼくもつくってみよう。		
思いを味わう	(3) 気付いたテープの特徴を生かしてつないで遊ぶ。 色が重なってきれいな屋根になるように、たくさんの種類のテープをつなげよう。	1	○ 気付いたテープの特徴を今後の表現に生かすことができるようにさせるために、テープの特徴や、テープを組み合わせてできた形や色の工夫を全体で共有する場を設定する。その際、遊具全体を見渡ししながら「最初の遊具と比べてどうかな。」と発問し、テープを工夫してつなげることが遊具を楽しい場所にするということを実感させ、今後の表現意欲につなげる。
	4 遊具をいろいろな場所から鑑賞し、自分や友達の表現のよさを味わう。 テープのつなぎ方を工夫したり、テープの特徴を生かしたりすることで、遊具がもっと楽しい場所になったな。		

5 本 時 (1 / 2)

(1) 目 標

遊具にポリエチレンテープをつなぐことに興味をもち、体全体を使って活動に取り組むことを通して、適切に結んだりはさみを使ったりしながら、ポリエチレンテープを組み合わせてできた形や色の特徴に気付く、気付いた特徴を生かして表現することができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、活動中に自分や友達の表現を小集団で鑑賞する場を設定し、「友達はテープのよさをどのように生かしているかな。」と問い、形や色を基に鑑賞させることで、「友達はテープの色を何色も重ねてカラフルにしているよ。ほくもやってみよう。」というように、テープの特徴やその特徴を生かして表現するよさに気付かせ、表現の見通しをもたせながら展開していく。

(3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 遊具にポリエチレンテープをつないだり巻きつけたりして遊ぶことについて話し合う。  ポリエチレンテープをゆうぐにつないでみたいな。	5	○ 遊具にポリエチレンテープをつなぐことに意欲をもたせるために、「ポリエチレンテープでどんなことができそうかな。」と発問し、実際に教師がテープを遊具につなぐ活動を見せ、活動の見通しをもたせる。その際、教師がつないだテープを基に、気付いたことやさらに工夫したいことを発表させ、本時のめあてへと焦点化する。
	2 学習のめあてについて話し合う。 テープをつないで、遊具をもったのしい場所にしよう。	3	○ 適切にはさみを使用することができるよう、はさみの安全な使い方やテープの切り方について掲示資料を活用する。
	3 遊具にポリエチレンテープをつないだり巻きつけたりして遊ぶ。  行為志向型 イメージ 長くつなげば面白そうだな。  作品志向型 イメージ 様々な色を使ってパーティ会場にしよう。 【つくりながら考える】 長い線は面白いな。もっと面白くできないかな。 カラフルな遊具になって面白い。もっと面白くできないかな。 【他者の表現を見ながら考える】 色がいっぱいあっていいな。しましまの模様も面白いな。 長い線が色々な方向に伸びていて楽しいな。 ←関係付け 気付いたテープの特徴や他者の工夫 関係付け→  新たなイメージ 緑の長い線に黄色を巻きつけてしましま模様を表現してみよう。  新たなイメージ カラフルな長い線をあちこちにつなげて楽しいパーティ会場にしよう。	30	○ 遊具の特徴を生かして表現するよさに気付くことができるように、高低差や距離感といった特徴を生かして表現している子どもを価値付ける。 ○ テープの特徴や、特徴を生かした表現のよさに気付かせるために、テープの特徴を生かして表現している子どもを価値付け、その子どもの近くの小集団で共有する場を設定する。また、その際、「友達はテープのよさをどのように生かしているかな。自分に生かせそうなものはあるかな。」と問い、形や色を基に鑑賞させ、自分の表現への見通しへとつなげさせる。 ○ 次の表現の見通しを豊かにもたせるために、「次はどんなつなぎ方をするとさらに面白い形になるかな。」と発問し、次の行為への見通しをもたせたり（行為志向型）、「他にどんなものがあると〇〇らしくなるかな。」と発問し、作品としての表現の見通しを具体的にもたせたり（作品志向型）する。 ○ 活動が停滞している子どもが意欲的に活動に取り組むことができるように、「これは何に見えるかな。どんな線があると面白いかな。」と発問し、組み合わせさせた形や色からイメージさせ、活動の見通しをもたせる。
思いを味わう	4 本時の学習を振り返り、発見した形や色、イメージを紹介し合う。  ポリエチレンテープは、色を組み合わせると楽しい模様をつくれたり、長い線をつないでパーティみたいにできたりするな。次も見つけた工夫を生かしたいな。	7	○ 本時の学びを実感し、ポリエチレンテープの見方や考え方を深めるために、本時の活動を振り返り、気付いたテープの特徴や、特徴を生かしたことを発表させる。その際、気付いたことを次時に生かそうとする姿を価値付ける。